



Halloween

この時期、シドニーはハロウィンで盛り上がっています。学生たちはイベントやパーティに参加して、ハロウィンを楽しんだようです。



←↑ルナパークで行われたHalloscream VIIというハロウィン特別イベントに参加しました。特設のお化け屋敷など、いつもと違うアトラクションもあり、楽しめたようです。



←ジョーカーのメイクを施してホームパーティに行きました。



↑コスチュームショップは見るだけでも楽しめます。



←TAFE本科でイベントを学ぶ学生は、着ぐるみを着て授業の一環であるハロウィンイベントに参加しました。



→ゾンビのメイクをして、シドニーから電車で北西に約3時間のリスゴーで行われたハロウィンイベントに参加しました。

Night Noodle Market

10月11日(金)から18日(金)の間、麺類だけでなく様々な食べ物を販売する屋台が並びイベントがシティのハイドパークで開催されました。



Baseball

12期生の戸松杏偉は、シドニーの硬式野球チームに所属しています。また、辻麻美はマネージャーとしてスコアブックの記録などを担当しています。



11月誕生日



留学フェア

10月26日(土)、27日(日)に大阪、東京でベネッセ海外留学・進学フェアが開催されました。5期生の大塚美野と、昨年に引き続き9期生の黒簀里紗が来場者たちに自身の留学体験談を話してくれました。また、12期生の菅野仁美が、Skype先輩相談ブースにて、来場者からの留学に関する質問に答えたり、自身の体験を交えながら、アドバイスしたりしてくれました。



↑大塚美野(写真左)は東京会場で手伝ってくれました。



↑オーストラリア在住の黒簀里紗はSkypeで参加してくれました。



↑Skype先輩相談ブースは菅野仁美が協力してくれました。



←渡航前の学生たちのカウンセリングや出願手続き、ビザ代行申請などのサポートを行っているベネッセ海外留学センターの皆さんとSSOの小田奈々

Jinのシドニー留学記

ベネッセ留学センター奨学生 菅野仁美

留學生活で友だちを作ることは、英語力の向上だけでなく、人脈を広げるためにも大切なことです。とはいえ、友だち作りは容易ではありません。そこで今回は、現地の友だちが多いBenesse GCAの学生に、そのコツを聞いてみました。

一般的に、現地や他国出身の学生との出会いの場は、学校や、アルバイト先が多く、中には以前オーストラリアに短期留学をしていた時の友だちと遊んでいる学生もいます。友だちを増やすポイントは、友だちから友だちを紹介してもらうことだそうです。友だちと遊びに行く時は、一緒にカフェやレストランに行ったり、図書館で勉強をして過ごしていて恋愛話が一番盛り上がるようです。

私も現地の友だちがいますが、彼女からたくさんのことを教えてもらい、会話をしている中で英語力にも自信がついたと感じます。現地や他国出身の友だちがいるかどうかで、留學生活は変わっていくと思います。貴重な海外留学ですので、これからも積極的にコミュニケーションの場を開拓していきたいです。



←現地での友だち作りのコツについて、インタビューしました。

12期生便り



牧原 礼奈

愛知県立
岡崎西高等学校
(愛知県)

オーストラリアに来て半年がたち、こちらでの生活にも慣れました。オペラハウスを見ても何とも思わなくなるほど、シドニーにいるという感覚も薄れてきています。思い返すと、渡航当初はレストランやカフェで何かを英語で注文するとき、勇気がなくて友だちと譲り合っていたのに、今では店員さんとの会話を楽しんでいます。一人で外出することも、映画を見に行くこともできるようになりました。留学して楽しかったことは、友だちと話すことや休日に

遊びに出かけることです。初めて行くショッピングモールにはいつもドキドキして、どんなお店があるのかを見るだけでも楽しいです。逆に辛かったことは、日本の家族や友だちに会えないことです。自分の部屋で、ふと孤独を感じ、渡航前は「絶対に海外に行きたい！住みたい！」と思っていたのに、日本に帰りたくなる瞬間がありました。でも、楽しい毎日のおかげで今ではホームシックになることもほぼなくなりました。私には、TAFEでツーリズムを学んでツアープランナーになって、通訳として両親を海外に連れて行くという夢があります。この夢に向かって、これからも頑張りたいと思います。



松永 竜之介

私立
興南高等学校
(沖縄県)

留学して良かったことは、日々英語を使う環境にいられることです。確かに、日本でも英語は学べますが、日常会話やコミュニケーションの取り方を学ぶには留学が一番だと思います。僕は日常会話から英語を習得していくことで、より自然な英語を勉強できて、学術的な英語に対する苦手意識も和らいでいき、楽しく英語を勉強できるようになりました。一方で、辛かったことは他国の人たちとのグループ課題です。英語でコミュニケーションを取ることの難しさ

を知りました。TAFEでは現地の人たちとグループワークをしなくてはならないので、今のうちに慣れておきたいと思っています。シドニーでビックリしたことは、ここが世界有数の多文化都市であることです。移民が多いとは知っていましたが、ここまで文化の多様性があるとは思いませんでした。オーストラリアだけでなく、他の多くの文化を知る機会があり、楽しいです。TAFEでは、ゲームアートを勉強したいと考えています。ゲーム作りには、チームワークが必要とされるので、自分の意見をはっきりと伝えることができるよう、また相手の意見はしっかりと理解できるように、更に自分の英語を上達させていきたいです。